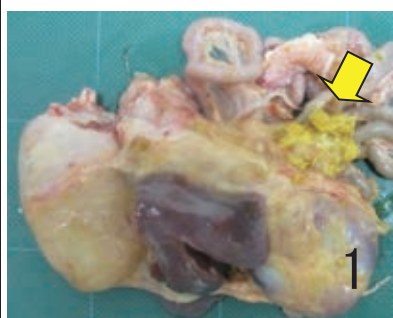


疾病 (異常)	<h2 style="text-align: center;">10 大腸菌症</h2>
肉 眼 所 見	<p>1 漿膜炎</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・黄白色の混濁や肥厚が肝被膜、心膜や心外膜、壁側漿膜などに認められ、しばしば相互に癒着している。</li> <li>・線維素やチーズ様物が気嚢に付着していることもある。</li> <li>・腸管漿膜が混濁及び湿潤し、ときに体腔に不定形の黄白色チーズ様物が認められる。</li> </ul> <p>2 蜂窩織炎</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・皮下組織の化膿性炎であり、病巣の多くは大腿内側起始部から腹部並びに胸部にかけてみられる。</li> <li>・病変部の皮膚は灰白色ないし黄色を帯び、腫脹・膨隆している。</li> <li>・病変の多くは、び漫性に浸潤し、黄白色の滲出液や化膿性滲出物が認められる。</li> </ul> <p>3 漿膜炎を併発した卵管炎</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・卵管が内腔に黄白色チーズ様物を満たし、円筒状に膨満する。腹腔が不潔感を呈して漿膜炎を併発することもある。</li> </ul> <p style="text-align: center;">参考文献</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 板倉智敏：大腸菌症，鶏病病理学カラーアトラス，46-48，学窓社，東京(1988)</li> <li>2 中村菊保：鶏の大腸菌症の発病機序，日獣会誌，48，633-639（1995）</li> </ol>
廃棄等の措置の根拠	別表第10（全部廃棄）

疾病  
(異常)

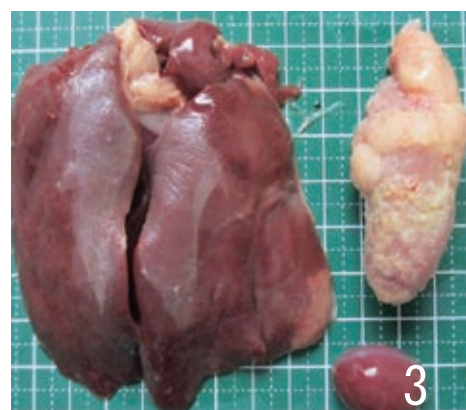
# 10 大腸菌症



漿膜炎：心膜水は混濁、増量。肝臓、筋胃及び腸が癒着。腸間膜にチーズ様物（矢印）が付着している。



漿膜炎：肝被膜及び心膜はともに混濁、肥厚して相互に癒着している。



漿膜炎：肝被膜は混濁し、心外膜に線維素化膿性滲出物がみられる。脾臓は正常な外観を示している。



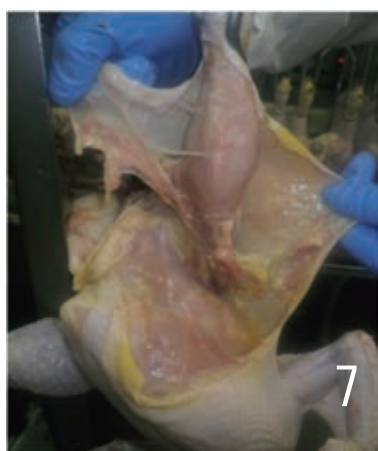
蜂窩織炎：胸部、腹部、大腿部は腫脹、膨隆し、皮膚は黄色化している。



左の剥皮像：広範囲の皮下組織に多量の黄白色チーズ様物が認められる。



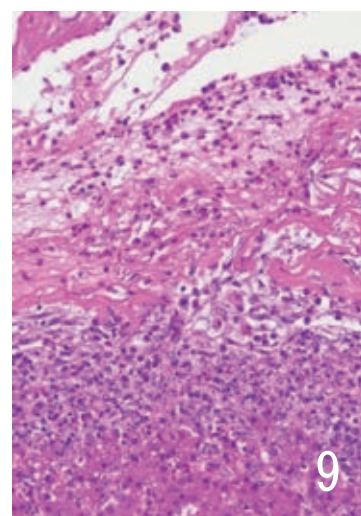
蜂窩織炎：右脚から内股部にかけて皮膚は黄色化している。



No. 6の剥皮像：黄白色の化膿性滲出物は皮下組織に認められる。



卵管炎：卵管の一部が円筒状に膨満し、漿膜は混濁、肥厚している。



漿膜炎：多量の線維素を伴って、肝臓の被膜に炎症細胞が浸潤している。